

2023 年度本学学生の進路・就職状況について

名和 直美

2023 年度の卒業生は 1,486 名、この学生たちの進路・就職状況について、以下に報告する。

1. 進路・就職状況

リクルートワークス研究所の 2023 年 4 月調査によると、2024 年 3 月卒業の大学生・大学院生対象の民間企業求人倍率は 1.71 倍となった。新型コロナウイルス感染症の影響から脱しつつあった 2023 年 3 月卒の求人倍率ですでに回復傾向が見られたが、今回はさらに 0.13 ポイント上昇し、より採用意欲が高まっていることがわかる。これを業種別に見ると、建設業、製造業、流通業などは、人手不足の状況が変わらず求人倍率は高い。特に建設業の求人倍率が 7.7 倍から 13.74 倍と高くなっている。その一方で金融業、サービス・情報業の求人倍率はそれぞれ 0.21 倍、0.36 倍と低いままとなっている。

2023 年度の卒業生のうち就職を希望した者は 1,293 名 (87.0%) で、昨年度を 2.3 ポイント上回った。また、就職決定者は 1,278 名 (86.0%)、就職希望者に対する就職決定率は 98.8% となり、前年度から 0.3 ポイント減少した。文部科学省・厚生労働省の共同調査によると、今春の大学卒業者の就職率は全国平均で 98.1% となり、前年度を 0.8 ポイント上回った。女子に限定すると 98.3% となり、前年度を 1.0 ポイント上回る結果となっている。

そのほか、大学院等進学者は 104 名 (7.0%) であった。また、「その他」と分類される者の中には、次年度に公務員・教員採用試験の受験をめざす者、留学する者等が含まれている (いずれも令和 6 年度学校基本調査確定値、表-1 を参照)。

就職先を業種別に見ると、前年度に続いて「情報通信」が最も多くなり、次いで「サービス」、「金融・保険」以下「製造」、「卸・小売」、「教育・学習支援」と続く。また職種で見ると、営業、事務が全ての学部で多くなっている。教員、栄養士など学科の学びを生かした専門職に就いた卒業生もいる。

2023 年度の就職活動では、3 年次夏以降のインターンシップから早期の採用選考につながるようになった学生が増え、「早期選考」という表現が当たり前のように聞かれるようになった。キャリア支援課が行っている個別の就職相談を利用する学生数が増加する時期および内定重複に関する相談が出る時期が例年より早まっている印象がある。いずれも就職活動の早期化を反映しているものと思われる。

このように就職活動にインターンシップが大きな存在となったことから、就職活動を控えた学年の学生の中には、インターンシップに参加できないとその企業の採用選考を受けられないと思っている学生もいたため、インターンシップ、オープンカンパニーなどを正しく理解し有効に活用できるよう、昼休みを使ってのセミナーを複数回実施した。就職活動支援のためのガイダンスの一つとして、今後もその必要性は高いと考えている。

2. 今後の展望

三省合意によって提示された、学生のキャリア形成支援活動の分類に対応した「タイプ3」のインターンシップを検討している企業は、特に大手を中心に増えている。選考のあるインターンシップに応募する学生は、エントリーシートを作成し面接練習を行って対策をしているが、個人情報を採用選考に利用することができるタイプ3のインターンシップが増えた場合、学生は応募のための準備にさらに時間をかけることになると思われる。これまでのように職場体験または企業や職種を理解するという目的だけでなく、自分の能力を認識してどう企業に示すのかの視点も必要になると、さらに準備のための期間が必要で、学生の就職活動がより早期化するのではないかと懸念している。

大学では正課の授業や課外活動の中で低学年のうちから自分自身の将来を考え、社会への関心を持つきっかけとなる様々な機会が提供されている。これらを通じて少しずつ意識が変わり、より主体的な学生生活に変わっていくことで、卒業時までには納得できる進路を選択できるようになることを期待している。

(なわ なおみ キャリア支援課長)

表 - 1 2023 年度卒業生 進路状況

令和 6 年度学校基本調査確定値（5 月 1 日現在）

学部	学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率②	大学院進学者数	大学院進学者数	その他
			就職希望率	就職率①		大学院進学者数	大学院進学者数	
家政学部	児童	96	86 89.6%	85 92.4%	98.8%	4 4.2%	0 0.0%	7 7.3%
	食物	97	84 86.6%	83 95.4%	98.8%	10 10.3%	0 0.0%	4 4.1%
	住居	89	65 73.0%	64 94.1%	98.5%	21 23.6%	0 0.0%	4 4.5%
	被服	78	67 85.9%	67 91.8%	100.0%	5 6.4%	0 0.0%	6 7.7%
	家政経済	92	91 98.9%	91 98.9%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
	小計	452	393 86.9%	390 94.7%	99.2%	40 8.8%	0 0.0%	22 4.9%
文学部	日本文	137	122 89.1%	118 89.4%	96.7%	5 3.6%	0 0.0%	14 10.2%
	英文	138	126 91.3%	125 92.6%	99.2%	3 2.2%	0 0.0%	10 7.2%
	史	94	80 85.1%	79 86.8%	98.8%	3 3.2%	0 0.0%	12 12.8%
	小計	369	328 88.9%	322 89.9%	98.2%	11 3.0%	0 0.0%	36 9.8%
人間社会学部	現代社会	97	95 97.9%	94 96.9%	98.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.1%
	社会福祉	96	89 92.7%	88 91.7%	98.9%	0 0.0%	0 0.0%	8 8.3%
	教育	103	95 92.2%	95 93.1%	100.0%	1 1.0%	0 0.0%	7 6.8%
	心理	73	60 82.2%	59 93.7%	98.3%	10 13.7%	0 0.0%	4 5.5%
	文化	122	111 91.0%	109 90.1%	98.2%	1 0.8%	0 0.0%	12 9.8%
	小計	491	450 91.6%	445 92.9%	98.9%	12 2.4%	0 0.0%	34 6.9%
理学部	数物情報科	87	62 71.3%	61 89.7%	98.4%	19 21.8%	0 0.0%	7 8.0%
	化学生命科	87	60 69.0%	60 92.3%	100.0%	22 25.3%	0 0.0%	5 5.7%
	小計	174	122 70.1%	121 91.0%	99.2%	41 23.6%	0 0.0%	12 6.9%
	合計	1,486	1,293 87.0%	1,278 92.5%	98.8%	104 7.0%	0 0.0%	104 7.0%

就職率①：「就職者数」／「卒業生数」－「大学院進学者数」－「大学・短期大学・専攻科・別科進学者数」

就職率②：「就職者数」／「就職希望者数」

その他：専修学校、外国の学校等進学者、教員・公務員受験準備等
端数処理の関係で合計が 100%にならない場合がある